

橋剛史さん次々入選

コミカルな作風に評価

行橋出身
映画監督

行橋市出身の映画監督、橋剛史さん(27)が各地の映画祭やコンテストで入選を重ね、評価を高めている。東京の専門学校を卒業後、2009年に故郷に戻り脚本から編集まで自主製作している。「今後はアジアに目を向け、長編映画にも挑戦したい」と意欲的だ。

【山本紀子】

短編を故郷で自主製作

好みの女性に会うと

獲得した。

だ。不思議な展開のシ

卒倒してしまう男が主

人公の短編「心臓の弱

い男」(13年)は米ア

カデミー賞公認映画祭

シヨートシヨートフィ

男の日常が淡々とコミ

カデミー賞公認映画祭

シヨートシヨートフィ

カデミー賞公認映画祭

シヨートシヨートフィ

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

カデミー賞公認映画祭

葉に頼らず映像で表現すること。「学生時代はセリフだらけのシナリオを書き、先生から突き返された。いい映画とは、音を消しても7割わかるものです」両親とも、山深いみやこ町の犀川伊良原地区でロケした。ダム建設前に風景を残しておきたかったという。同じ専門学校の監督コースに入学した仲間約60人いたが、今も映像の仕事をしているのは5人以下だ。昨年、は豪州に留学し各地の若手監督と交流を深めている橋さんは「娯楽性と社会性のある作品を撮っていききたい」と話す。

みやこ・犀川や今川沿いで撮影



今後は長編も撮ってみたいと話す橋さん

が上映される。

今後は11日の市民文化祭オープニングイベントの演出を担当し、11月2日のインディペンデント映画祭山別府では、永久別府劇場大分県別府市)で午後4時から「心臓の弱い男」が上映される。